

# 第50回

## 新千歳空港の24時間運用に関する 苫小牧市地域協議会会議録

日 時：令和2年10月28日（水）18時30分開会  
場 所：植 苗 フ ァ ミ リ ー セ ン タ ー

第50回新千歳空港の24時間運用に関する苫小牧市地域協議会

・日 時 令和2年10月28日(水) 18:30~19:20

・場 所 植苗ファミリーセンター

---

・議 題

- (1) 新千歳空港における最近の動向について
  - (2) 令和元年度航空機騒音測定結果等について
  - (3) 住宅防音対策の進捗状況等について
  - (4) 地域振興対策の進捗状況等について
  - (5) 新千歳空港周辺地域振興基金について
  - (6) その他
- 

◎地域委員 出席者(19名)

◎北海道(6名)

◎(公財)新千歳空港周辺環境整備財団(2名)

◎苫小牧市(7名)

《オブザーバー参加》

◎北海道エアポート株式会社(7名)

## 1. 開 会

### ● 苫小牧市（まちづくり推進室長）

定刻となりましたので、ただいまから、第50回新千歳空港の24時間運用に関する苫小牧市地域協議会を開催いたします。

本日の協議会は、お手元に配付しております次第に基づき、進めさせていただきます。

## 2. あいさつ

### ● 苫小牧市（まちづくり推進室長）

それでは、協議会の開催にあたりまして、北海道の総合政策部交通企画監からご挨拶を申し上げます。

### ● 北海道（交通企画監）

皆様、おばんでございます。

本日はお忙しい中、また、お仕事が終わってお疲れのところ、地域協議会にご出席いただきまして、ありがとうございます。

また、委員の皆様方には、日頃から、新千歳空港の24時間運用をはじめ、道の航空行政にご理解、ご協力を賜り、改めて感謝を申し上げます。

今日は、知事から、新型コロナウイルスの感染が拡大しており、ステージ2に移行するが、ここが踏ん張りどころということを、記者会見でお話させていただいています。

北海道としては、新北海道スタイルの取組を徹底するということ、新型コロナウイルスの感染症対策と社会経済活動の両立を図るという目標を掲げておりますので、皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

さて、新千歳空港におきましては、コロナの影響で、今年に入ってから、3月以降、国際線のお客さんはゼロ、国内線においても、今日も新聞紙上で全日空、日本航空は過去にない赤字を計上する見込みだという報道もありました。こういった航空会社の経営が非常に厳しい状況にあるということに加えて、今年から、新千歳空港の運営を始めており、今日ご臨席いただいております北海道エアポート株式会社におかれましても、やはり、減便とか利用者の減少によりまして、非常に厳しいスタートとなったと認識しております。

このような中ではありますけれども、国のG o T o トラベル事業が開始され、先月の4連休辺りからお客さんが徐々に回復してきているということに加えて、さらに東京がG o T o トラベルに加わったということで、国内線については段階的に回復の兆しを見せているところです。

また、この25日には、ピーチ・アビエーションで新たに新千歳－那覇線が開設され、こうした動きが新千歳空港の利用者数の回復につながるということが大きく期待されているところです。

一方、地域の皆様の安全・安心な生活環境の確保のため、地域の皆様とお約束した地域振興対策、また、住宅防音対策につきまして、社会全体が新型コロナウイルス感染症の影響

響を受けて厳しい状況が続いておりますけれども、引き続き、我々北海道と苫小牧市、財団、そして、北海道エアポートの関係者が連携して取組を進めていくことにより、後ほど担当よりその状況を説明させていただきますけれども、頑張っていきたいと思っております。

本日の地域協議会では、皆様から忌憚のないご意見を頂戴できればと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

●苫小牧市（まちづくり推進室長）

続きまして、苫小牧市の副市長からご挨拶を申し上げます。

●苫小牧市（副市長）

皆様、おばんでございます。

本日は、大変お忙しい中、そして、夜分にもかかわらずご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

地域協議会委員の皆様におかれましては、新千歳空港の24時間運用に関しまして、常日頃からご理解とご協力をいただいておりますことに対しまして、厚く御礼を申し上げます。

さて、新千歳空港を取り巻く状況につきましては、ただいま交通企画監からもお話ございましたが、新型コロナウイルス感染症の影響など、大変厳しいものとなっておりますが、LCCの路線拡充など明るい話題も徐々に始まっており、市といたしましても、北海道エアポート株式会社などと連携し、航空需要の回復に努めてまいりたいと考えているところでございます。

また、皆様とお約束をさせていただいております住宅防音対策、そして、地域振興対策につきましては、北海道や新千歳空港周辺環境整備財団と連携をしながら事業を進めているところでございます。

今後も、皆様からのご意見などを賜りまして、スピード感を持って、この事業を着実に実施してまいりたいと考えているところでございます。

改めまして、委員の皆様には、地域協議会の開催に対します御礼と協議へのご協力を心からお願いを申し上げます、簡単ではございますが、冒頭のご挨拶とさせていただきます。

本日は、よろしくお願いいたします。

●苫小牧市（まちづくり推進室長）

それでは、この後につきましては、座って進めさせていただきます。

次に、事務連絡でございますが、本年3月31日をもちまして、勇払地区のパルプ町内会が解散したことに伴い、委員が退任しておりますので、ご報告いたします。

また、本日は、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、ソーシャル・ディスタンスの確保、検温の実施、会場内の換気など、新北海道スタイルの取組を実践しての開催となります。

皆様方におかれましても、マスクの着用にご協力をいただくとともに、質問及び回答については簡潔にお願いしたいと考えております。

また、万が一、本日出席された方で感染が分かった場合には、お手数ですが、苫小牧市空港政策課までご連絡を頂きたいと思っております。

### 3. 議 事

#### ●苫小牧市（まちづくり推進室長）

それでは、3の議題に入らせていただきます。

「（1）新千歳空港における最近の動向について」を議題といたします。

北海道及び北海道エアポート株式会社から説明をお願いいたします。

#### ●北海道（新千歳空港周辺対策担当課長）

早速でございますが、資料1-1をご覧ください。

新千歳空港における最近の動向について、ご説明させていただきます。

最初に、「1 令和2年冬ダイヤにおける深夜・早朝時間帯定期便の状況」についてでございます。例年、夏の地域協議会では夏ダイヤを報告していますが、今回は、既に冬ダイヤとなっておりますので、冬ダイヤの状況を報告させていただきます。

計画上では、昨年度と比較して、ANAで2便減少し、1日最大5便となっております。

次に、「2 深夜・早朝時間帯における国際臨時・チャーター便」でございますが、令和2年度につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響のため、現時点で深夜・早朝時間帯における臨時・チャーター便の運航実績はございません。

最後に、下段に、参考といたしまして、これは8月29日に千歳市地域協議会で資料としてお示ししております令和2年夏ダイヤの状況を掲載しております。後ほどご覧いただければと思います。

道といたしましては、今後も、深夜・早朝時間帯の発着枠が有効に活用されるよう、新型コロナウイルス感染症の動向を見極めながら、航空会社等に対し働きかけていきたいと考えております。

新千歳空港における最近の動向に係る説明は、以上のとおりでございます。

#### ●北海道エアポート株式会社（地域共生部長）

お手元の資料1-2をご覧ください。

私からは、新千歳空港の近況ということで、3点ほどお話し申し上げます。

まず、空港の運営事業でございますが、おかげさまで、6月1日に新千歳空港事業所を設置いたしまして、運営を開始いたしました。空港の運用、保安防災、施設管理、灯火・電気という業務を国土交通省からしっかり引き継ぎまして、今、取り組んでいるところでございます。

我々は、空港の専門会社として、安全・安心を第一にして、これから鋭意取り組んでまいります。よろしくお願いたします。

次に、2点目の新型コロナウイルス感染症に関する影響でございます。

ご承知のとおり、2月に中国の武漢で新型コロナウイルスが発生してから、3月下旬に国際線の全路線が運航停止になりました。そして、国内線の旅客数もどんどん減ってまいりまして、4月は前年比10%、5月にも6%程度という厳しい状況が続いております。

しかし、Go To キャンペーン等もありまして、9月に入って月間の旅客数が79万9,000人、前年比40.9%、それから、速報値ですが、10月18日で旅客数が52万8,000人、前年比52.9%まで戻ってまいりました。先ほど、北海道の交通企画監からもご紹介ございましたが、LCCのピーチ航空が10月25日から新千歳－那覇線を開業いたしました。そういうこともあって、国内路線を中心に、これから復便が期待されるところでございます。

発着便数の推移につきましては、お手元の数字のとおりでございます。

次に、3点目、コロナ後を見据えてということで、今、北海道の観光関係セクションの方々、北海道観光振興機構とともに、「HOKKAIDO LOVE!」ということで、知事が旗振り役となり、キャンペーンを展開しております。特に、海外の方も含めて、コロナが収束したら北海道を観光地として選んでいただくよう、官民一体となって取り進めているところでございます。

空港周辺の皆様のご理解がなければ我々の運営も円滑には進まないと思っております。こういう場でいろいろご意見をお聞かせいただいて、ご指導いただければと思っております。本日は、よろしく願いいたします。

●苫小牧市（まちづくり推進室長）

それでは、ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問をお受けしたいと思えます。何かございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

（「なし」と発言する者あり）

●苫小牧市（まちづくり推進室長）

最後のその他の部分でまとめてご質問されても構いませんので、次に進ませていただきます。

次に、「（2）令和元年度航空機騒音測定結果等について」を議題といたします。

北海道から説明いたします。

●北海道（新千歳空港周辺対策担当課長）

3ページの資料2-1をご覧ください。

令和元年度の民航機の騒音測定結果について、ご説明させていただきます。

航空機騒音の測定局は、苫小牧市内におきましては、北海道が設置した植苗局など9局、苫小牧市が設置した琥珀荘局など5局の計14局がございます。

表の中に、年間L d e n値と民航L d e n値という表現で記載しておりますが、年間L d e n値につきましては、千歳飛行場を離着陸する自衛隊機を含む全ての航空機騒音を集

計した結果でございます。また、民航L d e n値とは、自衛隊機の離着陸のなかった日を民航機のための航空機騒音を測定した日とみなして集計した結果です。

令和元年度の苫小牧市における測定結果につきましては、表の太枠で囲った部分となります。

民航L d e n値につきましては、沼ノ端をはじめ、4局において、前年度の値を上回る結果となった一方で、植苗公園など4局が昨年度を下回る結果となっております。

ただ、いずれの局におきましても、全ての測定局で対策の目安となる環境基準を下回っているところです。

令和元年度の民航機の騒音測定結果に係る説明は、以上のとおりでございます。

続きまして、4ページの資料2-2をご覧ください。

遅延便の深夜・早朝時間帯使用状況について、ご説明させていただきます。

この資料での遅延便とは30枠以外の便で、出発ないし到着が予定より遅れたことにより、深夜・早朝時間帯を使用した便のことです。

はじめに、1、航空会社別便数についてでございますが、令和元年度の合計の欄ですけれども、こちらは前年度から26便減少して、323便となっております。航空会社別では、JALが108便と一番多く、全体の33%を占めているといった状況でございます。

続いて、2の遅延理由別便数についてでございますが、令和元年度につきましては、天候による遅れが159便と一番多く、全体の49%となっております。

続いて、3の時間帯別便数についてでございますが、例年、22時から22時19分の20分以内の遅延が一番多く、令和元年度では146便と全体の45%を占めております。

また、22時台の遅延につきましては、248便で全体の約76%を占めております。

遅延便の深夜・早朝時間帯使用状況に係る説明は、以上のとおりでございます。

続きまして、5ページの資料2-3をご覧ください。

千歳市側と苫小牧市側の離発着の状況について、説明させていただきます。

昨年、苫小牧市及び千歳市の委員の方から、それぞれの地域側における離陸と着陸の実態を調べてほしいといったご意見を頂きました。

本資料は、千歳市側にある旭ヶ丘局、苫小牧市側にある植苗局それぞれの測定局で実際に計測された民航機の音から離着陸数を区分し、7時から20時までを日中、20時から7時までを夜間としてカウントしたものです。

それでは、上の表をご覧ください。

まず、令和元年度の着陸数についてでございますが、全体で千歳側が4万580回、苫小牧側が2万4,451回でして、比率では、千歳側が約62%、苫小牧側が約38%となっております。

時間帯別に見た場合、7時から20時までは千歳側が3万5,353回、苫小牧側が2万1,105回であり、比率では、千歳市側が約63%、苫小牧側が約37%となっております。

また、20時から7時まででは、千歳側が5, 227回、苫小牧側が3, 346回でございまして、比率では千歳側が約61%、苫小牧側が約39%となっております。

次に、令和元年度の離陸数についてでございますが、千歳側から離陸する航空機につきましては、東京方面をはじめ、目的地に向かって南下するものが多く、その場合、千歳側で離陸後、南向きに旋回して苫小牧側に向かうこととなります。こうしたことから、苫小牧側の測定局でも、千歳側から上がった飛行機を離陸としてカウントするケースがございまして、騒音測定結果からは正確な離陸数を把握することができないということが今回分かりました。

そこで、資料におきましては、実際に離陸と区分された測定データをお示ししておりますが、今お話ししたような理由もございまして、離陸数の総数が着陸数の総数を1万回ほど上回っているということになっております。

なお、実際には、着陸数の逆数が離陸のおおよその数と推測されますので、離陸数は全体では、千歳側は約2万4,000回、苫小牧側は約4万回程度と見込んでおります。

千歳市側と苫小牧市側の離発着の状況に係る説明は、以上のとおりでございます。

●苫小牧市（まちづくり推進室長）

それでは、ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問をお受けいたします。何かございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

（「なし」と発言する者あり）

●苫小牧市（まちづくり推進室長）

それでは、次に進めさせていただきます。

「（3）住宅防音対策の進捗状況等について」を議題といたします。

北海道から説明いたします。

●北海道（新千歳空港周辺対策担当課長）

住宅防音対策の進捗状況等についてでございますが、最初に、恐縮ですが、資料の7ページをご覧ください。

ここに、参考ということで、新千歳空港周辺環境整備財団の組織図を掲載しております。

その組織体制は、下の枠で囲っておりますとおり、事務局の体制を今年度より9名といたしました。これは、昨年度まで、道からの派遣職員を1名増員し、合計10名で住宅防音対策などに対応してきたところでございますが、住宅防音対策に関わる効率的・効果的な業務処理方法を一定程度確立できたこと、具体的には、進捗管理がデータベース等できるといえるような処理方法が構築できたことから、事務局長が管理課長を兼務する体制として、1名減員させていただいたことを説明した資料になっております。

それでは、大変恐縮ですが、戻っていただいて、資料の6ページをご覧ください。

6ページの太枠で囲まれた苫小牧市のデータについて、ご説明させていただきます。

意向調査の件数が一般住宅で277件、世帯数で284世帯、集合住宅で8件、世帯数

で81世帯、合計で285件、365世帯となっております。

次に、工事実績についてでございますが、一昨年度の平成30年度まででは、一般世帯で75件、75世帯、集合住宅は2件、32世帯、合計で77件、世帯数では107世帯の工事が行われてきました。

昨年度は、一般世帯で10件、10世帯の工事でございます。

これらの件数に今年度の予定件数を加えますと、一般世帯で102件、105世帯、集合住宅で2件、32世帯、合計では104件、137世帯となり、進捗率は件数で36.4%、世帯数で37.5%となっております。

千歳市も合わせ全体の合計件数は、件数では626件、868世帯、進捗率は件数で29.2%、世帯数で29.9%となっております。

次に、項目2の令和2年度の現地調査でございますが、4月20日から24日までの第1次調査をスタートといたしまして、11月2日から6日まで実施の第7次調査までを予定しております。

合計の欄をご覧ください。

一般住宅での16件を調査予定件数としておりますが、これに加え、後ほど説明させていただきます高齢者優先枠の施工予定分が加算される予定でございます。

次の7ページをご覧ください。

項目3の高齢者優先枠の設定となっておりますが、これは、8ページの資料3-2で説明させていただきます。

先ほど申し上げました高齢者優先枠についてでございますが、昨年度に引き続き、今年度も募集を実施しております。

詳細に関する説明はこの場では割愛させていただきますが、募集期間終了後の提出につきましても、個別の状況を勘案し確認させていただくなど、財団においてフォローアップしてまいりますので、皆様の町内会の中で85歳以上の方がお住まいの住宅で、希望届出書をまだ出していない方がいるというようなお話がございましたら、財団のほうに相談するように言っていただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

住宅防音対策に係る説明につきましては、以上のとおりでございます。

●苦小牧市（まちづくり推進室長）

それでは、ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

（「なし」と発言する者あり）

●苦小牧市（まちづくり推進室長）

それでは、続きまして、「（4）地域振興対策の進捗状況等について」を議題といたします。

北海道及び苦小牧市から説明いたします。

●北海道（新千歳空港周辺対策担当課長）

それでは、11ページの資料4-1をご覧ください。

地域振興対策の進捗状況等についてご説明させていただきます。

既に皆様ご承知の内容も含め、順を追って説明させていただきます。

まず、植苗地区の道営住宅の整備についてでございますが、植苗地区の星ヶ丘団地内に道営住宅を整備するものです。現在、第二期までの整備が終了しており、16戸全てが満室となっております。

三期目の整備につきまして、12ページの資料4-2をご覧ください。

項目2に整備戸数等にありまして、三期目整備につきましては、2棟7戸を整備することとしておりまして、3LDK5戸、2LDK2戸がその内訳となっております。

また、全体計画といたしましては、29戸を整備する予定としております。

次に、項目3、第三期整備スケジュール（予定）をご覧ください。

再来年の令和4年3月を入居時期とし、今年度中に用地取得など、来年5月から再来年3月の完成に向けて本体工事に入っていく予定となっております。

なお、このスケジュールについてでございますが、道営住宅の建設は、子育て世帯に入居していただくことで、植苗小中学校に通う子どもたちを増やすとともに、地域への定住を促進し、植苗地区の活性化を目指すためのものであることから、年度替わりでの入居が可能とすることが重要とのご提案を植苗地域の皆様から頂き、決定したものでございます。

また、入居募集についてでございますが、時期も含め、地域の皆様にも相談させていただきながら実施してまいりたいと考えているところです。

なお、お示しいたしましたスケジュールは、既に道の内部調整が済んだものとなっておりますが、今後、手続を進めていく上で、本日お示したスケジュールに支障を来すような事案が発生するかもしれませんので、あくまでも予定とさせていただきます。ただし、私どもとしては、全力でこのスケジュールに沿って作業を進めてまいる考えでございますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、11ページの資料4-1にお戻りください。

道営住宅の下欄にある道の駅関連施設の整備ということでございますが、これは、昨年3月にウトナイ湖を望む展望台が供用開始となっております。

続いて、冷暖房機器等の設置でございます。

冷暖房機器の設置につきましては、令和2年度は11件の実施を計画しております。

続きまして、住宅建設が可能となる区域拡大につきましては、星ヶ丘地区は平成28年11月に地区計画の告示を行っております。

続きまして、沼ノ端地区の複合施設の整備ですが、平成30年10月に供用開始となっております。

また、文化交流施設の整備についてでございますが、沼ノ端地区に新たな文化情報を発信する拠点施設として、仮称ではございますが、文化交流サロンを整備するものです。

詳細につきましては、資料４－３において苫小牧市から後ほど説明していただきます。

最後に、勇払地区の総合福祉会館の整備でございますが、平成２９年１２月に供用開始をしております。

地域振興対策の進捗状況につきまして、駆け足になりましたが、説明は以上のとおりでございます。

●苫小牧市（空港政策課長）

私から、（仮称）沼ノ端鉄南地区文化交流サロン整備事業につきまして、補足説明をさせていただきますと思います。

資料４－３、１３ページをご覧ください。

こちらは、新千歳空港の深夜・早朝３０枠拡大に伴う地域振興対策として、子ども向けの絵本などを充実させた特色ある図書機能に加え、地域の高齢者や障がいのある方などが集う共生型の地域福祉拠点機能を併せ持った複合施設を整備するものでございます。

はじめに、建物概要の計画地につきましては、付近見取り図にありますように、東開町内会総合福祉会館の西側、東開町２丁目５４３番－１となっており、現況地籍は２，７０３．５５平方メートル、用途地域は第一種中高層住居専用地域、構造は木造平屋建てとなっております。

次に、裏面の１４ページをご覧ください。

配置図でございますが、敷地の左側が建物本体、右側が駐車場となっております。建物には、図書スペースや絵本ホールのほか、地域交流の場として活用できるパブリックスペース、文化系サークルなどが利用できる多目的ホールなどを予定しており、現在、具体的な配置につきまして、市の関係部署や地域の皆様と協議しているところでございます。

今後につきましては、住民説明会やパブリックコメント、実施設計などを行ってまいりたいと考えております。

私の説明は以上でございます。

●苫小牧市（まちづくり推進室長）

それでは、ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等はございますでしょうか。

A委員、お願いします。

●A委員

今の説明の中で、間取り又は外観も含めて地域の人と相談しておりますという説明だったのですけれども、それはどういう形で進んでいるのですか。

●苫小牧市（空港政策課長）

文化交流サロンの話の進み具合についてですけれども、基本的には、東開町に建てるということですので、地元である東開町内会の皆様といろいろと話し合いをさせていただいております。沼ノ端地区の地域協議会の委員の皆様にも、随時、進捗状況についてお知らせしているところでございます。

●A委員

町内会の人と話すのは分かります。ですけれども、あくまでもこれは沼ノ端全体の協議会の物件なので、その辺を誤解しないでください。要するに、いいものをつくりたいという考えですので、その辺は忘れないでください。お願いします。

●苫小牧市（まちづくり推進室長）

ほかにございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

（「なし」と発言する者あり）

●苫小牧市（まちづくり推進室長）

それでは、続きまして、「（５）新千歳空港周辺地域振興基金について」を議題といたします。

北海道から説明いたします。

●北海道（新千歳空港周辺対策担当課長）

新千歳空港周辺地域振興基金についてご説明させていただきます。

15ページの資料5をご覧ください。

最初に、基金の概要についてでございますが、造成目標額30億円に対しまして、令和元年度末現在の造成済額は19億5,810万円となっております。

今回の30枠合意を契機といたしまして、道内で事業活動をされている企業を中心に基金造成への協力依頼を行ってきたところ、現在、17社から総額1億1,590万円の寄附表明をいただいております。

そのうち、令和元年度につきましては、寄附金納入として、6社、305万円を納入していただいております

ご寄附いただいた主な企業は、表のとおりでございます。

現時点では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりまして、当面の間、企業等に対する協力要請を中断している状況でございます。ですが、基金の確保に向けましては、経済界等と協議を続けておりまして、今後も引き続き努力してまいります。

なお、基金の造成目標額の未達成分につきましては、既に皆様ご承知のとおり、1.5%の金利見合い、約1,500万円を道から補助しておりまして、町内会等への配分はこれまでと同程度の額を確保しているところでございます。

新千歳空港周辺地域振興基金に係る説明は、以上のとおりでございます。

●苫小牧市（まちづくり推進室長）

それでは、ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問はございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

（「なし」と発言する者あり）

●苫小牧市（まちづくり推進室長）

それでは、本日の次第につきましては以上となりますが、最後に、「（６）その他」を

議題としたいと思います。

北海道から何かございますでしょうか。

●北海道（新千歳空港周辺対策担当課長）

特にありません。

●苫小牧市（まちづくり推進室長）

それでは、委員の皆様方から、最後に何かご意見等がございましたら、ご発言いただければと思います。

B委員、お願いします。

●B委員

多分、今から3年ぐらい前の話ですけれども、関西国際空港や成田国際空港周辺で航空機からのパネル等の落下部品ということが、一時期わっと発生した事案があったと思います。そのときに、ここでも少し話題にして、事案が発生している状況について報告を頂きたいというような話があったと思うのですけれども、ここ2年ほど何もなかったのですが、国交省から資料が出ていました。これは、欠落部品ということで、ご存じの方もいると思うのですけれども、主要7空港で着陸後の機体を調査したところ、部品が欠落していた数が出ていました。この部分から新千歳空港部分の数字を抜き出すことができないのかということをお聞きしたいと思います。

また、今、非常に業績が悪化している中ではありますけれども、こういったときからそういうことに関する整備とかを実施していただいで、今後、繁忙期を迎えるときにはしっかりと運用できるような体制づくりにつなげていただきたいという思いがあるのですけれども、そのことについて何かあればお聞きしたいと思います。

●苫小牧市（まちづくり推進室長）

北海道からお願いいたします。

●北海道（新千歳空港周辺対策担当課長）

3年ぐらい前にそういうお話があって、報告していたというのが、ちょっと私の記憶になくて、大変申し訳ありません。もう一度、調べさせていただければと思っております。

ただ、今日、そういうお話を頂きましたので、その件につきましても、申し訳ございませんが、調べた上で、後ほど回答させていただければと思っております。

よろしくお願ひいたします。

●苫小牧市（まちづくり推進室長）

よろしいでしょうか。

●B委員

はい。

●苫小牧市（まちづくり推進室長）

ほかにごございますでしょうか。

A委員、お願いします。

●A委員

植苗の第3期の道営住宅ですが、先ほどの説明だと、今年度の予定でなく、来年度に跨ぐような説明にも聞こえたのですけれども、その辺は今年度事業として間に合うのでしょうか。

●苫小牧市（まちづくり推進室長）

北海道からお願いいたします。

●北海道（新千歳空港周辺対策担当課長）

資料4-2をご覧くださいと思いますが、今年度から用地取得等に着手しまして、工事そのものは来年度ということで、令和4年3月の完成、入居を目指しているということでございます。

●苫小牧市（まちづくり推進室長）

要望ということでよろしいでしょうか。

●A委員

間に合うようにお願いします。

●苫小牧市（まちづくり推進室長）

ほかにございますでしょうか。

C委員、お願いします。

●C委員

項目ごとには質問をしませんでしたけれども、あまりにも進行が早いので、二つほど質問させていただきます。

まず、防音工事と絡むのですけれども、非常に飛行機が少ない割には、どう見ても基本のルートを飛んでいない飛行機が多々見受けられます。決まったルートを飛ばない飛行機というのは、民航機ではあり得ないかと思います。部品落下の件もありますけれども、コースに準じて飛ぶように指導をお願いしたいと思います。

それから、苫小牧側の防音工事の数があまりにも少ないと感じています。待っておられる人はたくさんいるので、財団にいつになりますかと聞いたら、いつになるかは分からないという回答が来ているそうです。その諸事情はいろいろあるように聞いていますが、ぜひ早めにしていただきたいと思います。

もう一つ、最後の基金です。

道庁が出すから良いというわけではなく、この基金はもう20年よりもっと前ですが、30億円に達しておらず、まだ20億円までいっていないということです。私は再三言っていたのですが、道庁さんが立て替えてくれていますけれども、コロナでこういうことから要請しないということを申されたけれども、やはりコロナ禍でもたくさん元気のいい北海道の企業があるわけですから、早く30億円に近づける努力はされたほうが良いのかなと思ってのご質問です。

●苦小牧市（まちづくり推進室長）

3点の質問がございました。

1点目が航空機の飛行ルートについて、2点目が防音工事の関係、3点目が基金の関係です。北海道からお願いします。

●北海道（新千歳空港周辺対策担当課長）

まず、最初の飛行ルートにつきましては、残念ながら私どものほうでデータを持っておりませんので、今日出たご意見をCABのほうに、どのような状況になっているかというのを確認した上で、後ほどご説明させていただければと考えております。

また、住宅防音工事につきましては、地域には様々な事情で工事をお急ぎの方が多くいることは私どもとしても認識しております。順位をつけて順番どおりに進めてはいるのですけれども、順番がなかなか回ってこない、こういう事情で早く実施してほしいという方がいらっしゃることを認識しておりますので、財団のほうからはまだ順番が来ないというお話があったのかもしれませんが、事情などをしっかりとご説明させていただければと思っております。

道といたしましては、財団にきた相談内容は財団から定期的に聞き取って把握しておりますので、事情によって早急な工事が必要と判断した場合は、財団と協議をして、できるだけ皆様の希望に沿うように取り組んでまいります。何とぞ、よろしく願いいたします。

また、基金につきましては、私どもは30枠の合意をいただいてから、先ほど説明したとおり、また企業回りをさせていただいておりますが、この趣旨にご理解いただける企業は非常に多くなっており、裾野は広がっている感じはしているのですけれども、その金額といえますか、6枠合意当時とは1社当たりの金額の桁が一つ変わってきているかなということもございまして、なかなか思ったように進んでいない状況でございます。

ただ、先ほど言いましたように、企業回りをする中で、基金への理解は非常に広がっておりますので、我々としては粘り強く企業回りを続け、基金の30億円を目指して頑張っていきたいと思っておりますので、何とぞご理解、ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

●苦小牧市（まちづくり推進室長）

よろしいでしょうか。

●C委員

はい。

●苦小牧市（まちづくり推進室長）

それでは、ほかにご質問、ご意見等はございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

（「なし」と発言する者あり）

●苦小牧市（まちづくり推進室長）

それでは、ないようでございますので、協議会の閉会に当たりまして、総合政策部交通企画監からご挨拶を申し上げます。

●北海道（交通企画監）

本日は、地域協議会に参加いただきまして、また、忌憚のないご意見を頂き、感謝申し上げます。

本日も報告させていただきました住宅防音対策及び地域振興対策、また、植苗地域の皆様が推し進めている道営住宅の整備につきまして、植苗地域の将来を見据えて大事な事業と考えておりますので、予定どおり進むよう、最善を尽くしてまいりたいと考えております。

また、本日回答できなかった事項につきましては、後ほど整理して早急に回答してまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思います。

道といたしましては、今後とも、苫小牧市、財団、北海道エアポートと連携しながらしっかり取り組んでまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

本日は、大変ありがとうございました。

●苫小牧市（まちづくり推進室長）

続きまして、副市長からご挨拶を申し上げます。

●苫小牧市（副市長）

本日は、新千歳空港を取り巻く情勢など、また、地域振興対策などの進捗状況についてご協議いただきまして、ありがとうございました。

本日の協議結果、そして、ご指摘を踏まえてご報告を申し上げました住宅防音対策や地域振興対策について、北海道や財団としっかり連携をしながら進めてまいりたいと考えてございます。

委員の皆様には、これまでも様々なご負担をおかけしてきたところではございますが、引き続きのご理解とご協力を心からお願ひ申し上げまして、最後のご挨拶とさせていただきます。

本日は、ありがとうございました。

4. 閉 会

●苫小牧市（まちづくり推進室長）

それでは、以上をもちまして、第50回新千歳空港の24時間運用に関する苫小牧地域協議会を終了いたします。

本日は、誠にありがとうございました。

以 上